

「接続料の算定等に関する研究会（第79回）」 ヒアリング資料

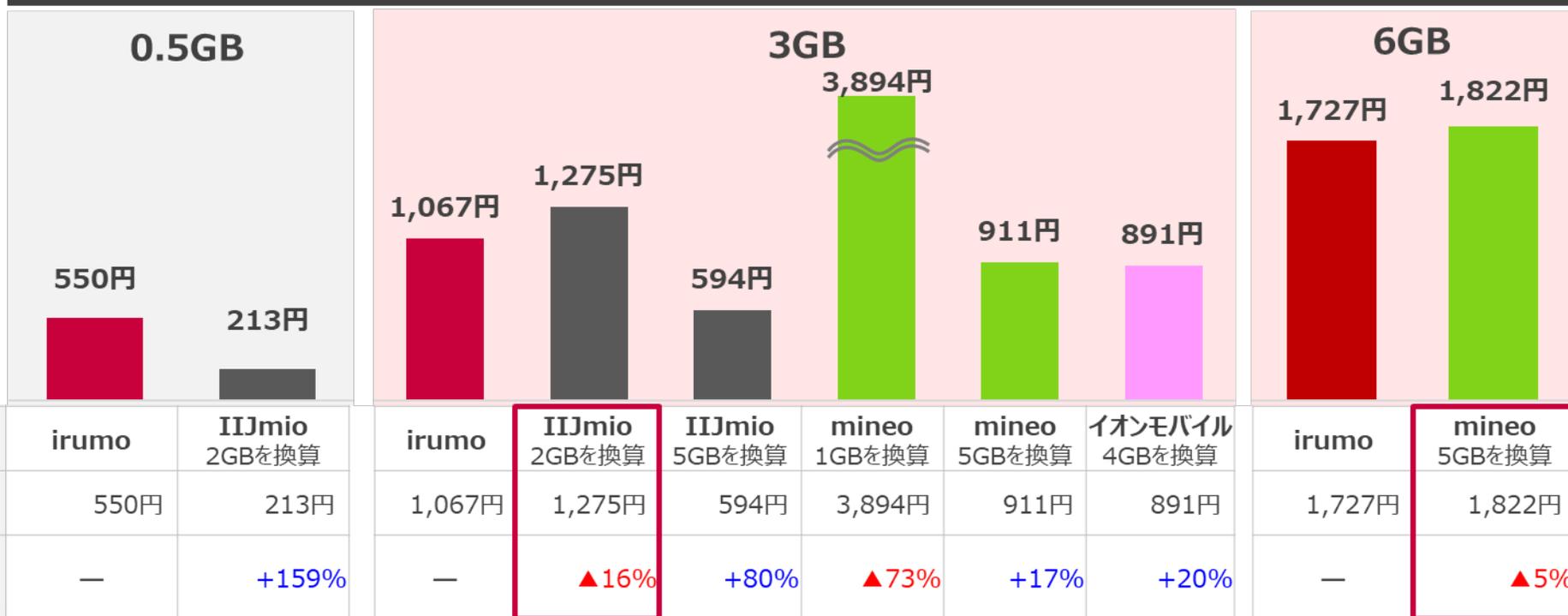
NTT
docomo

2023年12月19日

スタックテストの対象サービスについて

- ahamoは、接続料の上昇等の状況変化がないため、改めての検証は不要ではないか
- irumo 0.5GBプランは、MVNO料金を上回ることに加え、最大通信速度(3Mbps)が異なるため、検証対象とすることは不要ではないか
- irumo 3GB/6GBプランは、MVNO料金を下回るため、検証対象としても良いのではないか

irumoとMVNO主張近接プランの比較



※第78回接続料研究会にて、MVNOから提案のあった料金プランについて、総務省による2022年度スタックテスト検証対象プラン選定時の手法に従い比較を実施

※価格は税込み、音声通話オプションは含まない、irumo3GB/6GBはドコモ光セット割（▲1,100円）を便宜的に全額適用

その他考慮事項について

MVNOの主張	当社意見
<p>✓ FTTHとモバイルのセット割について、モバイル契約2回線目以降の割引は、単にモバイル契約による割引であるため、FTTHとモバイルに按分せず、全てモバイルに適用すべきではないか</p>	<p>✓ 当社は、企業会計基準の独立販売価格を基に会計処理をしており、「競争ルールの検証に関するWG」では、実際の会計処理に従いセット割を按分・検証すべきと整理された</p> <p>✓ <u>セット割は、モバイル契約2回線目以降についても、単にモバイル契約により得られる割引でなく、FTTHとのセットにより得られる割引</u>であるため、全てモバイルに適用するのではなく、FTTHとモバイルに按分することが適当である</p> <p>✓ 以上より、<u>現行の指針に示されたセット割の按分方法が適正であり、変更する必要はない</u>認識</p>
<p>✓ データ接続料相当額及び営業費相当額について、メインブランドの値を除外し、対象プランごとの値を採用すべきではないか</p>	<p>✓ 当社の提供している<u>eximo・ahamo・irumoはプラン名称であり、サブブランドではない</u></p> <p>✓ 当社は、<u>プランごとに設備を割り当てていない</u>ため、対象プランに限定した最繁忙トラヒック量等は存在しない</p> <p>✓ また、営業費について、<u>直接把握できるものはごく一部の広告宣伝費及び代理店手数料等のみであり、コールセンターの運営費等の共通費用が大宗である点を踏まえれば</u>、検証において対象プランに限定した営業費用を考慮する必要はないのではないか</p>